

# 「伊那市50年の森林(もり)ビジョン」 実現に向けた取組 (長野県伊那市)



## <3つのポイント>

- ・ウッドギフトからウッドエンドまでシームレスに事業を展開。
- ・「山(森林)が富と雇用を支える50年後の伊那市」という基本理念を掲げる。
- ・地域全体に対して森林・木材への意識高揚を図っている。

本件は、「伊那市50年後の森林(もり)ビジョン」の基本理念である「山(森林)が富と雇用を支える50年後の伊那市」の実現に向けて、伊那市が取り組んでいる木育事業の紹介です。具体的には、木の贈り物を行う「ウッドギフト」、地域材を使用した工作教室や学習机の天板の張替等の「ウッドライフ」、地域材を活用した木棺の制作研究を行う「ウッドエンド」の3つが柱になっています。

## <きっかけ>

平成28年2月「伊那市50年の森林(もり)ビジョン」策定。  
その基本理念である「山(森林)が富と雇用を支える50年後の伊那市」実現に向けた取組

## <目的>伊那市ソーシャルフォレストリー都市宣言

- ・市民生活と共生し、市民が活用できる森林(もり)づくりに努める
- ・市域の持続可能な経済発展を担う林業・木材産業活動を推進
- ・森林が多面的機能を発揮するための住民参加を推進
- ・森林資源・人材資源を育て、活かし、利用する循環社会を創出

## <内容>

### <ウッドギフト>

- ①誕生祝品(平成24年度から)  
赤ちゃんと保護者に、木のぬくもりを感じ親しんでもらい、植物や自然、環境への意識を育むための取組。

### <ウッドライフ>

- ②地域材を使用した工作教室の実施(平成25年度から)  
子どもから大人までが、暮らしと木との関わりについて考える習慣や、森林や里山、木に関する様々な知識や経験を、木を使った工作を通じて楽しく身につけるための学習活動。
- ③親子で校舎内廊下の腰壁板の張り替え(平成26年度から)
- ④学習机天板張替:市内小学校にて実施(参加者:小学4年生と保護者)(平成26年度から)
- ⑤地域産材を使用した住宅等の提案  
地域材利用促進と、移住・定住の促進を図るため、短期間のお試し暮らしができる「田舎暮らしモデルハウス」と、豊かな自然に囲まれた「サテライトオフィス」を建築。実際に利用してもらう中で、木と地域の良さを感じてもらう。

### <ウッドエンド>

- ⑥地域材を活用した木棺の製作研究  
「故人と、同じ時間、同じ空間を生きた地域材と旅立ち」に対する地域産材を使用した木棺の製作。カラマツ製、ヒノキ製の2樹種により製品化し販売。

## <実施体制>

実施主体:伊那市

協力団体:

- ・ウッドギフト:ユカイナ倶楽部、ウッドフォーラム伊那、地球環境デザインMOC
- ・ウッドライフ:上伊那林業振興協議会、上伊那森林組合
- ・ウッドエンド:伊那市地域材利活用研究会

## <経費>

- ①経費:3,000千円  
財源:地方創生推進交付金対象事業
- ②経費:425千円  
財源:木育推進事業(長野県森林づくり県民税活用事業)  
補助率:10/10以内
- ③経費:3,981千円  
財源:長野県地域発元気づくり支援金  
補助率:2/3以内
- ④経費:682千円  
財源:木育推進事業(長野県森林づくり県民税活用事業)  
補助率:10/10以内
- ⑤経費:3,450千円
- ⑥経費:2,933千円  
財源:平成27年度信州の木活用モデル地域支援事業(森林づくり県民税活用事業)  
補助率:10/10以内、上限2,500千円

## <関連法令>

伊那市50年の森林(もり)ビジョン推進委員会条例

## <問い合わせ先>

長野県伊那市農林部耕林地林務課林務係 TEL : 0265-96-8127  
URL :

[http://www.inacity.jp/sangyo\\_noringyo/noringyo/ringyo/moridukuri/50nemoridukuri.html](http://www.inacity.jp/sangyo_noringyo/noringyo/ringyo/moridukuri/50nemoridukuri.html)

## <ここに注目!>

市が率先して、山林資源を地域で活用させる地域づくりを進めています。市民が一生涯を通して、様々な場面で木材利用への意識を高められるような活動を展開しています。